

## あとがき

「豊能町の石の文化財」が初めて発刊されたのは昭和五十三年である。その後平成三年、平成八年に改定されている。今回の発刊は、それ以来のことです。

この「豊能町の石の文化財」は、本町内に現存する多彩な石造物を一年かけて悉皆調査したものであります。

本町は石の文化財の町です。歴史や文化財に対して関心を寄せていただきたいと願い、発刊するものであります。

本冊子は、石造物を対象にしています。前回発刊の石の文化財と重なる部分もありますが、さまざまな石造物を取り上げました。類型によって分類しますと、石燈籠・鳥居・庚申塔・五輪塔・町石（丁石）・笠塔・石風呂・道標等多彩な石造物です。対象物は銘刻されているもの、また明治以前のものに絞りました（一部除く）。残念ながら風化が激しく、銘文が刻まれているものや、時代が新しいものも多数あります。冊子に載せられなかった石造物は、今回のシリーズ編に期待するところです。そのためにも、できるだけ調査台帳に残すように努めました。

大阪府文化財愛護推進委員

上山 秀雄

題 字 須山 万寿子